

(専門分野)

授業科目	日常生活の援助技術Ⅱ (食事・排泄)	講師	教員	実務経験	単位数						
				○	1						
学習目標	1.栄養状態を整える意義を理解し、対象の状態に適した食事援助の技術を習得する。 2.排泄を整える意義を理解し、対象の状態に適した排泄の援助技術を習得する。			時間数	30						
				学年		1					
				時期			第2学期				
				回数				主 題	学 習 内 容	授業方法	講師
				1				人間の健康と食事	1.食事の意義 2.健康な食生活	講義	教員
2	食事援助の基礎知識	1.食べるための機能とは 2.栄養状態のアセスメント 3.摂食能力および食欲、食に関する認識のアセスメント 4.医療施設で提供される食事 1)食事の種類と形態 2)食事の提供方法	講義	教員							
3	食事の援助方法	1.経口的栄養摂取の援助の基本 2.嚥下訓練	講義	教員							
4		3.食事の援助方法の実際	演習	教員							
5	非経口的栄養摂取の援助	1.経管栄養法 2.中心静脈栄養法	講義	教員							
6	人間の健康と排泄	1.排泄の意義 2.排泄のメカニズム	講義	教員							
7~8	排泄行動のアセスメント	1.自然な排泄を促す援助 1)尿器・便器 2)ポータブルトイレ 3)オムツ 2.対象の状態に応じた援助 3.排泄物の観察	講義	教員							
9~11	排泄の援助方法	1.尿器・差し込み便器を用いた排泄の援助方法の実際 2.オムツ交換の援助の実際	演習	教員							
12~13		3.対象の状態に応じた排泄の援助 1)排泄を促す医療処置を伴う援助 (1)導尿 (2)浣腸 (3)摘便	講義	教員							
14		4.浣腸の実際	演習	教員							
15		評価	単位認定試験 (45分) まとめ								
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 看護技術がみえる vol.①基礎看護技術 看護技術がみえる vol.②臨床看護技術								